

一人ひとりの
防災意識が
大切です

非常時への備えを 万全に



これからの季節は、大雨や融雪による洪水や土砂災害など自然災害が発生しやすくなり、全国各地で自然災害による被害が懸念されています。

八雲町では、昨年8月の大雨により警報が発令され自然災害が発生しました。もしも、災害によりライフラインが止まった場合、復旧や救援体制が整うまでに3日ほどかかると言われています。

予想を超えるような災害に対して大事なことは、一人ひとりの防災意識です。

避難場所での生活など、いざという時のため、普段から非常持出品や非常備蓄品の備えを万全にしておきましょう！

【非常持出品の例】

品名等	補足
懐中電灯	停電や夜間の避難時等、すぐに用意できる場所に置いておく。
携帯ラジオ	小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるもの。
予備電池	懐中電灯や携帯ラジオ用に、少し多めに用意しておくで安心。
ヘルメット・防災ずきん	落下物から頭を守るための必需品。
非常食	乾パン、缶詰等の火を通さずに食べられるもの。
飲料水	持ち運びに便利なペットボトル入りが便利。
救急医薬品・常備薬	キズ薬、絆創膏、かぜ薬などのほか、常備薬等があれば忘れずに。
貴重品	預金通帳、健康保険証、免許証、公衆電話用に10円玉も忘れずに。
生活用品	衣類、雨具、タオル、マスク、生理用品、軍手、ナイフ、缶切りなど。
乳幼児のいる家庭	粉ミルク、ほ乳びん(消毒セット)、離乳食、紙おむつ、母子手帳など。
要介護者のいる家庭	おむつ、常備薬、補助具等の予備、障害者手帳など。

【非常備蓄品の例】

品名等	補足
非常食	缶詰、レトルト食品など非常食を数日分の備蓄。
飲料水	飲料水は大人一人当たり1日3リットルが目安です（水の配給を受けるためのポリ容器などもあると便利です）。
生活用品	カセットコンロ（予備のガスボンベ）、毛布、衣類、生理用品、マスク、ウェットティッシュ、使い捨てカイロ、ランタンなど。
工具類	家屋が倒壊した場合などに備えて、救出活動に使えるスコップ、バール、ロープなどを用意しておく。

『避難場所等』の 確認を！

災害はいつ起こるかわかりません。災害時にすぐに避難できるよう、避難場所や災害から身を守る方法をあらかじめ確認しておきましょう。

避難場所などの情報は町ホームページの他、昨年各世帯に配付した「くらしの便利帳」28ページにも掲載されていますので、ご覧ください。

防災行政無線の 整備工事が 始まります！

八雲地域では、平成27年度に黒岩地区から栄浜地区の津波ハザードマップで示している津波浸水区域および土砂災害の危険性が高い上の湯地区、下の湯地区に防災行政無線（屋外拡声器）を整備します。

整備工事中は、何かとご迷惑をお掛けすると思いますがご了承願います。